

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 4 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.2	存在する地区だけでなく、近隣地区への事業所の周知を図る。公文名地区の外れに位置している為、和久野地区、山泉地区への周知がなされていない。	公文名だけでなく、近隣地区への当事業所を周知する取り組みをする。	えがおの周辺地区(公文名、和久野、山泉)の公共施設など地域の方々が集う場所に、広報紙を置かせていただく。具体的には、小学校、公民館など。又、同じ医療生協の診療所や組合員ルーム「晴ればれ」、在宅総合センター和にもおかせていただき普段の活動や存在を地域の方々に知っていただく。	6ヶ月
2	No.33	27年度は入居者さんが亡くなったり、特養へ入所された方もいた。それぞれのケースに対応してきたが、終末期の入居者の対応についてマニュアル化されていない。入居者、家族、職員が安心できるようなマニュアル化が必要である。	いずれは誰もが迎える終末期について、入居者、家族、職員が安心した心構えが出来るようにする。	これまで対応してきたケースを検討し、マニュアル化をすすめる。	12ヶ月
3	No.35	毎年、火災を想定した避難訓練は行っているが、自然災害など火災以外を想定した訓練が行われていない。又、地域住民の協力が得られていない。	災害時を想定した、避難訓練の実施。地域の方々の参加。	訓練の前には区の役員さんへ運営推進会議を利用し、参加を呼びかける。又、公文名の組合員さんにも協力をお願いするなどして地域住民の協力と理解を得るよう取り組む。	8ヶ月
5	No..				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。